

平成 27 年度文部科学省委託事業
 発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業
 (発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業)
 「発達障害について学ぶ—発達障害の子どもをどのように支えるか—」

日時 2015年8月23日(日)
 13:00~17:00 [受付開始/12:30]

場所 豊川市勤労福祉会館 大研修ホール
 〒442-0878 愛知県豊川市新道町 1-1-3

交通のご案内 (公共交通機関)

・電車をご利用の場合

名鉄豊川線「諏訪町駅」で下車(徒歩約5分)

・バスをご利用の場合

豊鉄バス豊川線・新豊線「心道教前バス停」で下車(徒歩約5分)

豊川市コミュニティバス豊川国府線「保健センターバス停」で下車(徒歩約1分)

注) 駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関でお越しください。



～ 発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業 ～

文部科学省初等中等教育局

特別支援教育の更なる推進のためには、すべての教員が特別支援教育についての基礎的な知識及び技能を有する必要がある。現在は、教員養成段階において、特別支援教育に関する内容を含む科目を単位修得することになっているが、特別支援教育に特化した科目は必修となっていない。このような中、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」(平成24年7月23日中央教育審議会初等中等教育分科会)において、「発達障害に関しては、すべての教員が養成段階で学ぶ仕組みづくりが必要である。」との指摘がなされている。一方、現職教員についても、「インクルーシブ教育システム構築のため、すべての教員は、特別支援教育に関する一定の知識・技能を有していることが求められる。特に発達障害に関する一定の知識・技能は、発達障害の可能性のある児童生徒の多くが通常の学級に在籍していることから必須である。これについては、教員養成段階で身に付けることが適当であるが、現職教員については、研修の受講等により基礎的な知識・技能の向上を図る必要がある。」との指摘がなされている。

また、文部科学省において、平成24年に実施した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」においては、学習面又は行動面において著しい困難を示す児童生徒の割合は6.5%程度であるという結果となっており、各小中学校において、通常の学級の中でこれらの児童生徒も含めて、学習面又は行動面で困難を有するとされる児童生徒に対する支援を進めていくことが、喫緊の課題となっている。

これらを踏まえ、本事業では、学校現場において、発達障害に関する専門的・実践的な知識を有する教職員を育成するため、大学・大学院研究科において、教員養成段階や、中核的な現職教職員に対する、育成プログラムの開発を行う。

FAXでお申し込みください。 [申込締切：2015年8月20日(木)]

ご芳名	ふりがな		
ご住所	〒	都・道・府・県 区	市・郡 町
性別	男 ・ 女		
ご職業	事業所/機関/団体名:		
電話番号	()	—	FAX () —
E-mail	@		

お問い合わせ窓口



国立大学法人
愛知教育大学

研究推進部研究連携課プロジェクト管理担当
 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
 TEL: 0566-26-2417

FAX:0566-95-0012

※支援が必要な方は要望される内容を別途、左記までお電話下さい。
 ※ご登録いただいた個人情報については、国立大学法人愛知教育大学
 個人情報保護規定に基づき適正に管理します。

「発達障害について学ぶ— 発達障害の子どもをどのように支えるか—」

日時 2015年8月23日(日)
13:00~17:00 [受付開始/12:30]

場所 豊川市勤労福祉会館 大研修ホール

参加料 無料

申込み FAX[申込締切:2015年8月20日(木)]
※申込書式は裏面

主催 愛知教育大学

後援 愛知県教育委員会
豊川市教育委員会(申請中)

趣旨

平成17年(2005年)に施行されました発達障害者支援法にて発達障害児・者やその家族への支援を行うことが明確化されて以来、学校現場においても発達障害および発達障害の可能性のある児童・生徒(いわゆる、グレーゾーンの子供・生徒)や保護者への支援が進んでいます。

愛知教育大学大学院教育学研究科は、平成27年度の文部科学省の受託研究『発達障害の可能性のある児童・生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業』(発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業)に採択され、この受託研究のなかで、地域の教職員に対する発達障害の啓発を行っております。今回は、「発達障害について学ぶ—発達障害の子どもをどのように支えるか—」と題して、島根大学より野口寿一先生をお招きし、発達障害の子ども達の心の世界と、子どもの成長を支える姿勢について学ぶこととします。

「発達障害について学ぶ—発達障害の子どもをどのように支えるか—」プログラム

- 13:00** ● **開会・講演**
テーマ「発達障害について学ぶ—発達障害の子どもをどのように支えるか—」
○野口 寿一 先生(島根大学教育学部 心理・発達臨床講座 講師)
- 14:15** ● **研究調査報告**
テーマ「発達障害の可能性のある児童・生徒への支援に関する調査報告」
○原田 宗忠(愛知教育大学 教育臨床学講座 講師)
- (休憩 14:45 ~ 15:15)
- 15:15** ● **質疑・応答**
- 17:00** ● **閉会**

講師紹介 **野口 寿一 先生**(島根大学教育学部 心理・発達臨床講座 講師)

大阪市出身。京都大学教育学部、京都大学大学院教育学研究科を経て、阪本病院に臨床心理士として勤務後、2013年より現職。教育学博士。臨床心理士。

専門は臨床心理学。他者との関係性を通して立ち現われてくる自己という観点から、現代の心のあり方や発達障害における心について研究を行っている。